

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和2年度 第5回横山地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所地域振興課本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)				
開催日時		令和2年11月16日(月) 19時30分~21時00分				
開催場所		横山公民館 1階 大会議室				
出席者	委員	18人(別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	2人(本庁地域まちづくりセンター 所長、副主幹)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 令和2年度 横山地区まちづくりを考える懇談会について 「地域の未来を語ろう with 市長」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会の実施について</li> <li>・懇談会のスケジュールについて</li> <li>・懇談会のテーマについて</li> </ul> <p>(2) 「新しい生活様式」の中、地区としての対応について 増設される風水害等の避難場所など災害対策への地域の関わりについて</p> <p>(3) その他</p> <p>3 閉 会</p>				

## 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 開 会

吉田会長あいさつ。

### 2 議 題

#### (1) 令和2年度 横山地区まちづくりを考える懇談会について

懇談会の実施について、まちづくり会議委員へ諮ったところ、委員一同から承認された。実施が決まったため、事務局から別紙資料に基づき、2月8日(月)開催日までの懇談会のスケジュールを説明し、懇談会で提出するテーマに関しては、まちづくり会議で検討してきた「増設される風水害等の避難場所など災害対策への地域の関わりについて」の中で出されている意見から選定する方向で委員から同意された。

#### (2) 「新しい生活様式」の中、地区としての対応について

##### 「増設される風水害等の避難場所など災害対策への地域の関わりについて」

事務局から「令和2年度横山地区まちづくり課題一覧表」に基づき、災害対策への地域の関わりについて出された意見を示した上、その対応や取組み状況を情報提供させていただき、議論を進めていく参考資料として活用いただくよう説明をした。その後、各委員から各項目について意見交換がなされた。

特に高齢者においては、自宅が無事であれば在宅避難が第一。そのため例えば自宅でリュックサックにレトルト食品や手袋、常備薬など自身を守る物をしっかりストックする啓蒙をするべきである。自分を守る物として防災グッズの啓蒙を図るべき。

組織においてエリアの災害弱者を把握すること。個人情報に関わらず、名簿をしっかりと管理(最低でも電話番号だけでも)し災害弱者を出さない取組みが必要。

各家庭で災害発生を想定した避難場所について話し合うマイタイムラインとあるが、ぜひ緊急情報提供シートを記載に加えてほしい。

懇談会テーマ(案)は、自助、共助、公助のうち公助の部分がフォーカスされているが、公助は行政が主体となるものである。地域として災害に対応していく中では、共助の機能を高めていく必要があり、その上で地域だけで解決しきれない部分について行政の力をうまく借りられるような方向で働きかけができるかどうか新しい取組みに繋るのではないか。現状でそのような仕組みがあるのかは承知していな

いが、例えば災害時に地域にある民間の高齢者施設に地域の高齢者が避難して必要な支援を受けることができるように、市と民間の高齢者施設との間で包括連携協定のようなものを締結したりすることで、地域の高齢者の方の避難先確保の足掛かりにつなげるなど、共助の部分の強化を図ることができるのでは。

マイ・タイムラインは、災害に備えた行動確認を意識づけるという意味で有意義であるが、紙ベースなので実際の有事の際に有効に役立てることができるかという点と難しい点もあると感じる。今の時代ではスマートフォンが主流となっているので、例えばスマホアプリなどを活用してマイ・タイムラインの内容をいつでも確認できるようにしたり、地域の防災情報を確認したり、さらには情報を共有するシステムを構築したりすることができるのではないかと感じる。情報システムづくりで何かアイデアが生まれてくると新しい取組みに繋がるのでは。それはこの地域だけではなかなかできる話ではないので市として取り組んでもらえるように働きかけることができるのではとよいのではないかと感じる。

避難所体育館は夏の扇風機など整備が少しずつ進んでいるが、冬の暖房の話は少ないとの意見もある。

段ボールベットなどを購入する際に、企業との協定はあるのか。そういう企業と提携を結べば災害時に協力いただける。

ダンボールベットは10セット、1.5m仕切りを10セット小学校体育館に備えている。防災物品の購入は、市補助金を活用し地域団体が行っている。市では特定の業者から購入はしていない。

台風19号では、仕切り板の区画だけでなく、簡易テントの避難所での使用やコロナ禍の現状で必要となる備品をストックするなど、避難所の運営も変化してきている。

避難所の場所の区域について、その区域に縛られず、区域外でも最寄りの避難所へ避難すべき。区域の範囲にとらわれない避難所の情報共有が必要である。

(災害時の助け合い)災害時要援護者支援組織を10年前に市福祉部から組織化する依頼があった。横山地区でもいくつか組織化されたが、全市に支援組織がどのような活動をして、どのくらい組織が出来上がっているのかを知りたい。組織の活動などを参考に情報収集したい。横山地区では2つだが現在は松並の1組織、個人情報との関係もあり対象者の把握ができず運用が難しい。

市では毎年、災害時要援護者支援に関するアンケートをとったりしているが実際に現場の方は活動状況があまり把握されていない状況。高齢者の情報も変わっていく、見直しもしながら行っていく必要がある。

災害時要援護者は自治会に入っていない方も対象なのだが、情報提供が制限され自治会として一般の要援護者がどこに住んでいるのかわからず活動自体が難しく現在は活動を休止している。

( 3 ) その他

特になし

3 閉 会

末永副会長あいさつ。

以 上

令和2年度横山地区まちづくり会議委員名簿

	団 体 等	氏 名	備 考	出欠
1	横山地区自治会連合会	吉 田 貴 亮	会 長	出席
2	横山地区自治会連合会	坂 元 俊 美		欠席
3	横山地区社会福祉協議会	高 橋 年 廣	副会長	出席
4	横山地区社会福祉協議会	森 きん子		出席
5	横山地区連合自主防災隊	岩 瀬 弘 明		出席
6	横山地区連合自主防災隊	吉 村 公 一		出席
7	横山地区民生委員児童委員協議会	佐 賀 淳 司		欠席
8	横山公民館	末 永 暁 子	副会長	出席
9	横山地区老人クラブ連合会	長 沼 幸 江		欠席
10	相模原交通安全協会横山支部	茅 祐 司		出席
11	ボランティア横山	石 川 恭 子		出席
12	横山小学校 PTA	松 岡 史 朗		出席
13	清新中学校 PTA	田 辺 大 輔		欠席
14	横山地区青少年健全育成協議会	北 川 春 恵		出席
15	青少年指導員	太 田 ゆかり		出席
16	スポーツ推進委員	大 澤 千津子		出席
17	男性ボランティア横山ゼロツウ/テン	富 田 保 男		出席
18	防犯指導員	小 暮 勝 大		出席
19	健康づくり普及員	芦 野 まさ子		出席
20	保護司	山 石 三 男		出席
21	横山こどもセンター	志 村 勝 巳		出席
22	横山高齢者支援センター	杉 田 久美子		出席